

## 事故率 0%の建設・土木現場を支える Buddycom

密な音声連携で死亡事故やヒヤリハットを防ぐ

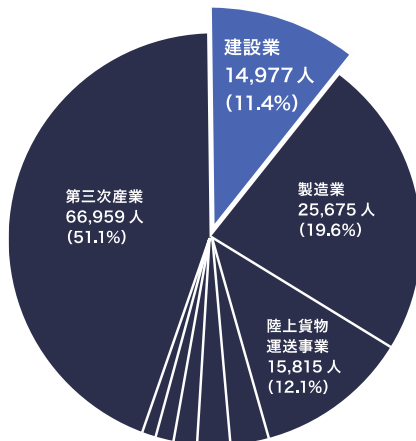


- Buddycom はインカムやトランシーバーの上位互換として多くの現場で利用されているアプリ
- 福島復興支援現場にて危険作業の減少、作業効率の向上を実現
- 定型文の送信・読み上げで、常に従業員に気を配ることで安全を確保

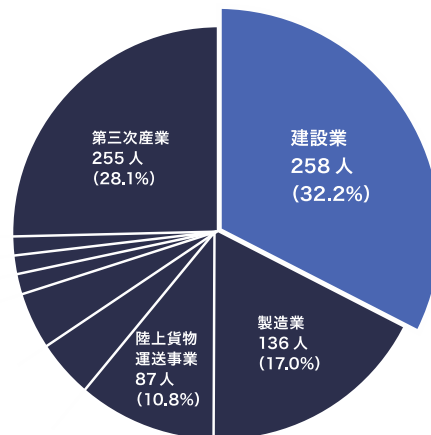
株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：平岡 秀一）が提供するデスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom(バディコム)」は、音声コミュニケーションで注意喚起し密な連携を行うことで建設・土木業の事故予防のためのツールとして役立っていることをお知らせします。

建設業は事故が多く、特に死亡災害は労働者の死亡者数全体の約 3 分の 1 を占めています。令和 2 年の死亡者数は、建設業が依然トップ (258 人、全産業の 32.2%) であり、事故の型別では墜落・転落が 95 人 (36.8%)、交通事故 (道路) 37 人 (14.3%)、崩壊・倒壊、はさまれ・巻き込まれが各 27 人 (10.5%) と、上位 4 つで全体の 7 割以上と高い割合を占めています。

業種別休業4日以上死傷災害発生状況  
死傷者数 131,156 人



業種別死亡災害発生状況  
死亡者数 802 人



※2020年4月30日厚生労働省「令和2年における労働災害発生状況について」を基にサイエンスアーツ社作成

そのような中、建設・土木工事を主体事業とする貴山株式会社では、2011年から福島復興支援に携わっており、Buddycomを使った従業員間の音声連携は2019年1月に採用し、以降、常に運用しています。当現場では、作業員と重機の隣接作業が多い現場において、ダンプカーやトラックの運転手と誘導員、あるいは重機オペレーターと手元作業員や合図を送る作業員とが Buddycom でつながることによって、危険作業の減少、作業効率の向上を実現する事ができました。

Buddycom は、危険を察知した作業員が、声が届くところまで近づくことなく、その場から即座に危険を伝えることができます。加えて、運搬車両が現場に到着・出発する際には、現場周辺の道路状況、現場内の運行ルートの確認が必要ですが、Buddycom は離れ

た位置からの誘導や指示を全ての作業員に対し、瞬時に共有できる事から、時間的ロスを解消すると同時に交通事故を未然に防ぐ事ができます。これらの活用により、当現場では Buddycom 導入以来、事故率 0%を継続しています。

全従業員に対し、リアルタイムに音声で連絡や注意喚起が届く事で、現場が引き締まり、無駄をなくし、安全と安心が提供されます。当社では、「建設・土木業界全体の死亡災害・事故率の減少につなげるため、少しでも多くの事業所に Buddycom を導入していただく事を願っています。」と話しています。



#### ■ 定型文を使った注意喚起も

事前に定型文を作成・登録する事で、簡単な操作で読み上げ音声は瞬時に流れるように設定が可能です。当社では「熱中症への注意喚起」「天候不良時の作業の注意喚起」など、グループ通話は勿論の事、定型文での気づきも与え、常に気を配ることで従業員の安全を確保しています。

#### ■ 複数の離れた現場同士がつながり、作業時間が短縮

福島県の復興現場は複数の市町村にまたがる広大なエリアに点在しており、限られた指揮者が複数の作業現場を管理しています。Buddycom なら従来の無線機では電波が届かなかった現場間においても、クリアな音声で簡単につながることができます。また、一度の通話で複数の作業エリアの進捗状況が分かるので、そのためにかけていた時間を大幅に短縮することが可能です。

#### ■ 今後の展開について

点在する複数の現場の様子を離れた場所から、映像で管理することも可能な Buddycom ですが、今後は車両の接近を感知するセンサーや、温度の上昇を検知するセンサー、人が危険な場所や死角に入り込んだことを察知する AI カメラなどの連携により、これらの装置が発するアラートを Buddycom が自動音声で読み上げ、監督者や作業員全員に瞬時に知らせるような仕組みも開発してまいります。Buddycom はこれからも、デスクレスワーカーが安全で働きやすい環境の提供を目指し、現場 DX を推進してまいります。

#### ■ Buddycom とは (<https://www.buddycom.net/ja/index.html>)



デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム

「Buddycom」は、音声や動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

サイエンスアーツは、「世界の人々を美しくつなげる」をミッションとして掲げ、デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。「Buddycom」は既に 500 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。

#### ◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザビル7階

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 五千万円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 [pr@science-arts.com](mailto:pr@science-arts.com)

【Web サイト】 <https://www.buddycom.net/>